
日向ぼっこ

来実

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日向ぼっこ

【Nコード】

N5625I

【作者名】

来実

【あらすじ】

平次と和葉の日常？です。ほのぼのしてます。

ただちよっと、平次が悪戯っ子になりすぎてゐるかも（笑）

なお、この話は「平和のコバナシたち」にも掲載してあります。

「へーいじい…」

「なんやあ…」

「めっちゃ気持ちエエ…」

「…せやな」

「お日様あったかあい」

「眠たなってくるな」

「だめ。寝んという」

隣におる和葉から、寝るな宣言だされてしもた。

こんな風にふたりで縁側で寝転がってひなたぼっこできるのは、幼馴染の特権だと思うねん。この居心地のいい関係、恨むこともようけあるけど。今は素直に感謝したい気分や。

自分のすぐ隣で、気持ちよさげにごろごろしとる和葉は、めっちゃ可愛ええ。

幼馴染って関係やなかったら、絶対抱きしめとったな…

ドツン

「…何すんねん」

和葉が、転がってぶつかってきおった。

「寝ん或者说うたやん」

「寝てへんわ」

「うとうとしてたやん！」

「うっさいわ！」

デツン！

「いったあゝ！なにすんの！？」

「仕返しやボーケ」

「もお！！！！！」

ゴツン！

「仕返し仕返しや！」

「やりおったなあゝ？」

倍返ししたろ思っ、て、ちよい助走をつけてみた。

どすん！

「…え？」

「…ふえ？」

転がったら、いきなし目の前に和葉の顔がアップで映った。

しもた。勢いつけすぎて和葉の上に乗り上げてしもたんやな。つか…この体制やばいんちゃう？まるで俺が和葉押し倒したみたいな…

「「……………」」

あかん。視線はずされへん。お互い見合ったまま。

しかし、長い睫毛やな…。ん？睫毛にゴミついとるやん。

「…和葉、睫毛にゴミついとるで」

「え！？」

「動くな。とったるから、目ェつぶっとけ」

「うん」

…おいおい。この状況でよく目ェつぶれるな！
誘ってるんか？

…なわけないわな。

けど、キスしたいわ。

こんな美味しいチャンス、二度とないんじゃない？

いや、まてまて。ここでうっかりキスして、和葉と絶交されでもしたら…

…やっぱ安全をとろう。

俺のこの鉄の理性、誰かほめてくれや…。

でも、悪戯くらいは…♪

がぷ。

「ひゃあ!？」

「…仕返しや♪」

「なっ…なっ…」

和葉は真っ赤んなって口パクパクしとる。
まあ当然やな。

鼻の頭、甘噛みしたったんやから♪

悪戯したろ思った時目に入ったんが、白くて形のいい、和葉の鼻。

あんま無防備しとると、喰うたるで？ っちゅう警告もかねて、がぷ
っとやったった。

「いっ…いっぺん死に！」

真っ赤な和葉、可愛ええわあ…。

いっとくけど、妥協するん今回だけやからな？
今度煽りおったら…

な？ (笑)

f i n.

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5625i/>

日向ぼっこ

2011年2月3日02時45分発行